

織田得能 とくぬ 佛教學者。萬延元年十月二日越前國生乳。明治四十年八月十八日歿（二六〇—九二）。舊姓生田。號雲溪。福井師範學校卒。次ついでで京都高倉學寮等を學ぶ。暹羅シヤムへ渡り南方佛教の實情を調査。明治二十二年から「佛教辭典」の編纂に従事し、完成直前の病死。歿後『織田佛教大辭典』として出版せられた。

著書に、『二國佛教略史』全二冊（生田得能名、島地照留共著、明治十二年七月二日無量壽堂藏版、鴻臨社・折鶴書院）、『原人論和解』（再版・明治二十八年六月）、『國文中の佛教文學』（編、明治二十二年二月）、『二國語傳習所』（國文會一種佛語解釋）（明治二十四年六月）（光臨館）等。

